

富里市における地域公共交通の現状と課題について

～暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系～

子どもから高齢者まで全ての市民が利用しやすい
高齢者にやさしい地域交通を目指して

令和4年度第1回 富里市地域公共交通会議 資料
令和4年4月25日



内 容

① 富里市が運行する公共交通の現状について

1. さとバスの概要
2. 運行エリア
3. 交通体系図
4. さとバスの利用状況
5. 現デマンド交通の概要
6. 運行エリア
7. 交通体系図
8. デマンド交通の利用状況

② 富里市地域公共交通の課題について

1. さとバスについて（令和3年7月 ニーズ調査）
2. デマンド交通について（令和3年8月 ニーズ調査）
3. 課題解決に向けた方向性



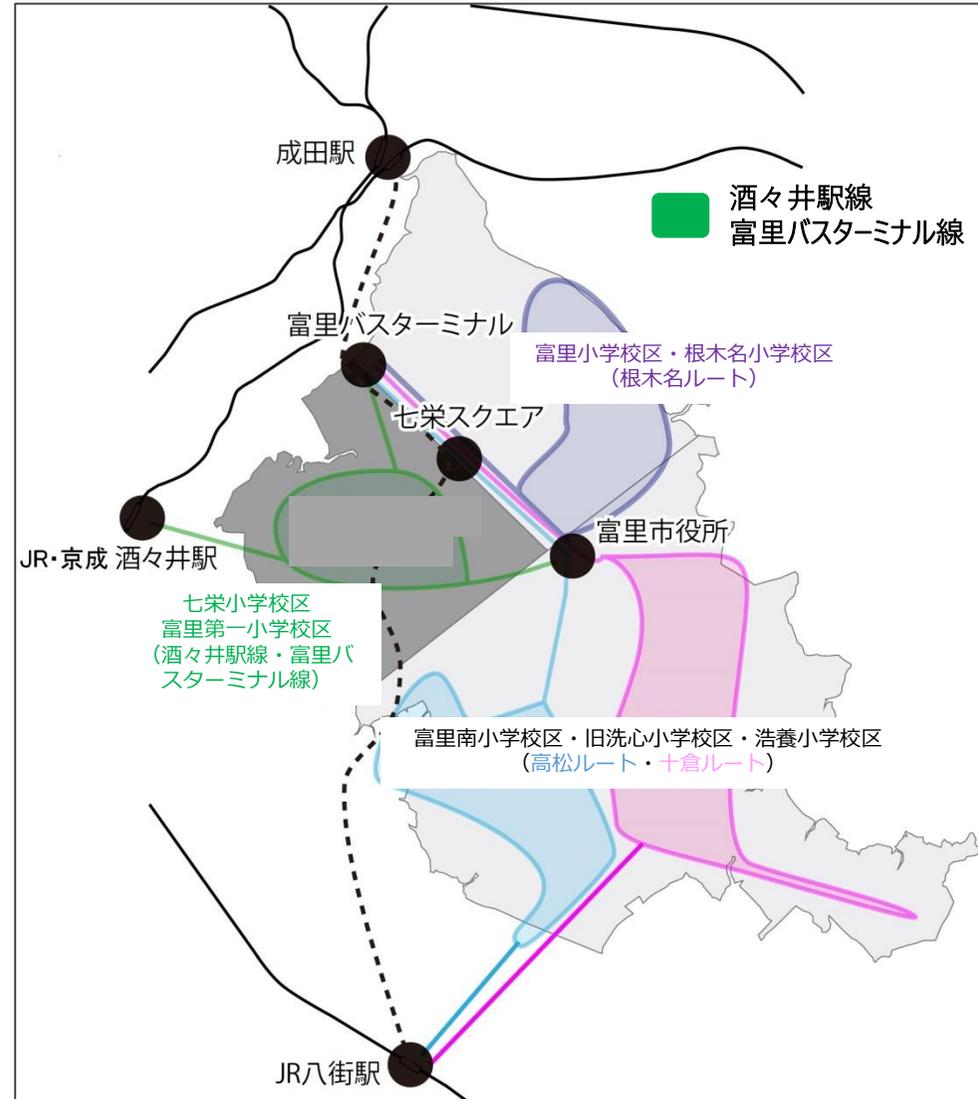
① 富里市が運行する公共交通の現状について

1. さとバスの概要

系統名		酒々井駅線、富里バスターミナル線
運行日		月～金曜日の平日運行 (土日祝日、年末年始(12月29日から1月3日)は運休)
運行本数		酒々井駅線 10 便、富里バスターミナル線 9 便
運行時間帯		午前 6 時台から午後 5 時台まで
車両		マイクロバス 
運賃	市内の利用	大人300円、小学生100円、 後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方150円
	市外 (JR・京成酒々井駅の利用)	大人400円、小学生200円、 後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方200円
	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び小学生未満は無料	

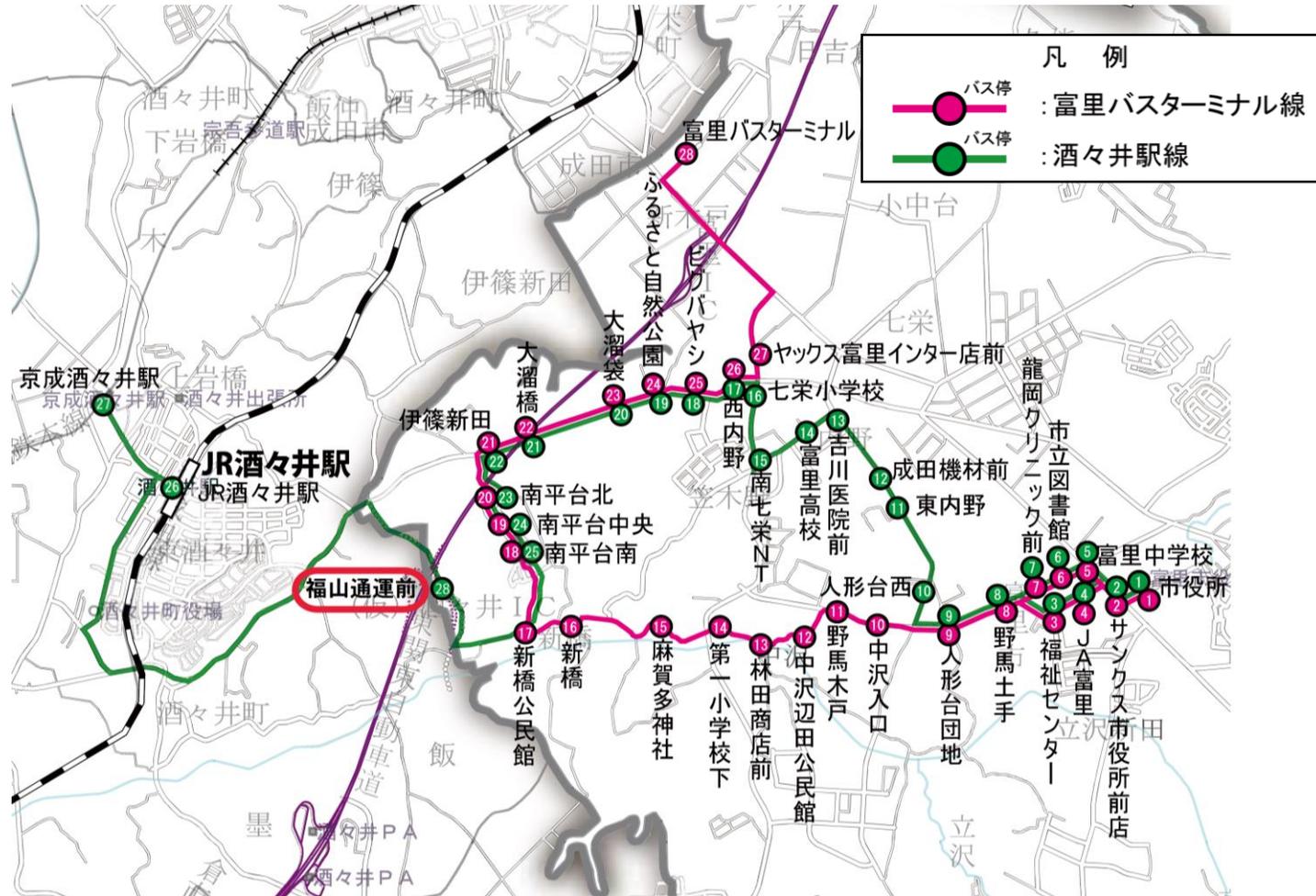
2. 運行エリア

○ JR・京成酒々井駅～市役所
(酒々井駅線)、富里バスターミナル～市役所
(富里バスターミナル線)が運行しています。



3. 交通体系図

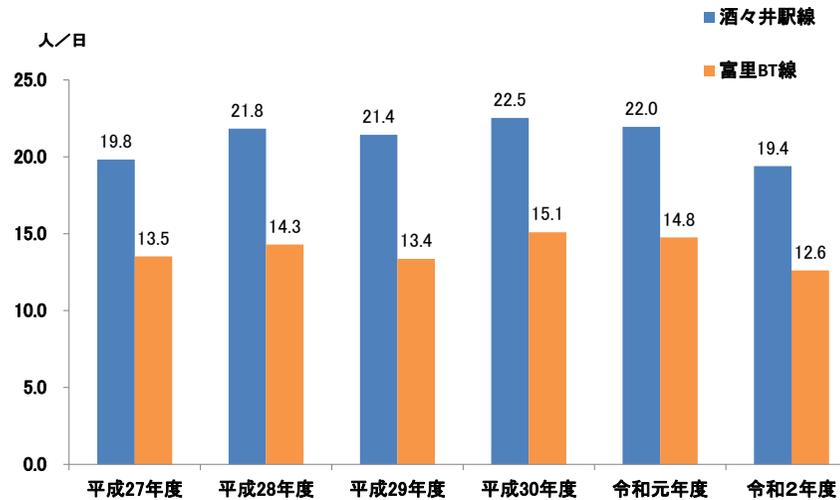
酒々井駅線・富里バスターミナル線



4. さとバス交通利用状況

- 2001年の供用開始以来、市民の移動手段の確保をしてきましたが、供用年数は20年近くになり、走行距離数は約70万キロです。
- さとバス利用者は減少傾向かつ極めて少なく（1便の利用者は平均2人以下）収支率は1割となっています。

さとバス路線別1日平均利用者数



利用者に増加傾向が見られず、減少傾向です。収支率については他市町村と比較しても低く、公共交通の持続性の危機と言わざるを得ない状況です。

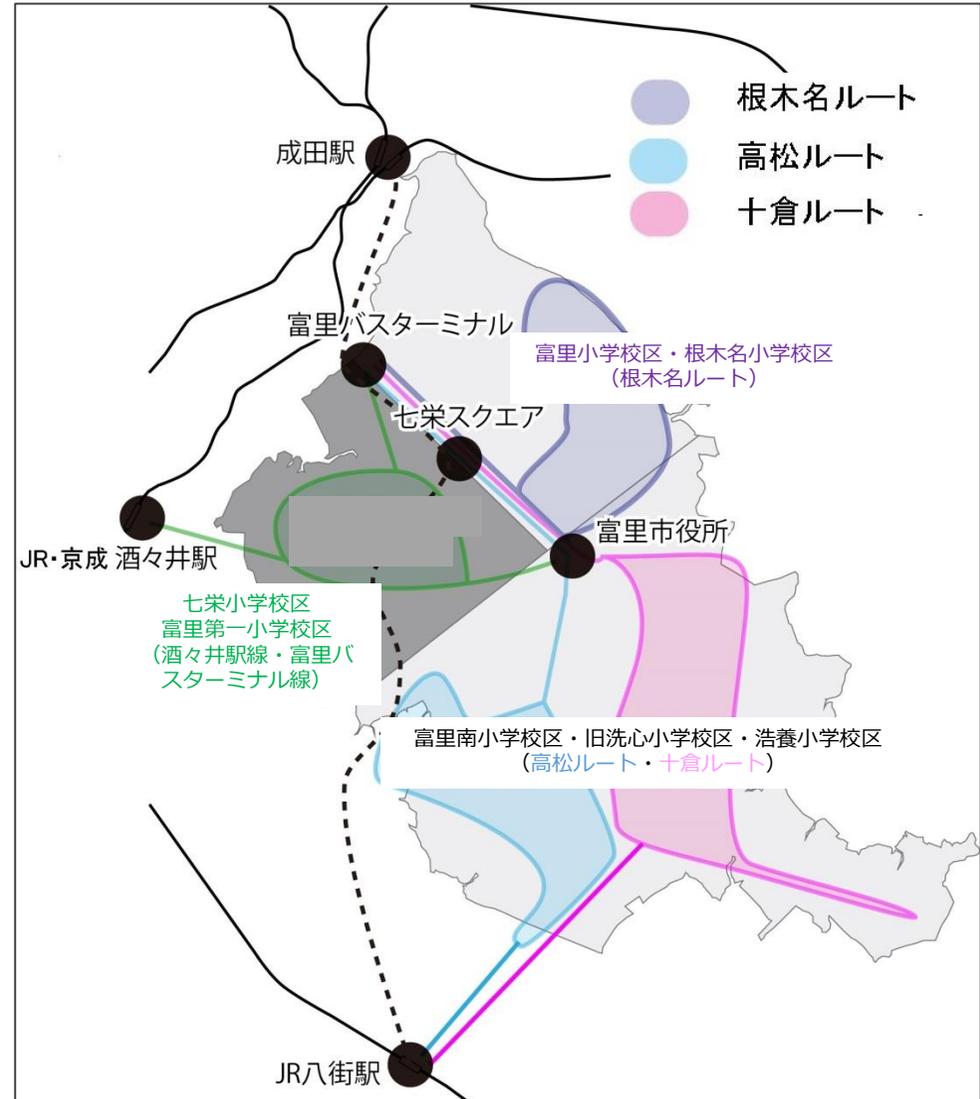


5. デマンド交通の概要

系統名		根木名ルート、十倉ルート、高松ルート
運行日		月～金曜日の平日運行 (土日祝日、年末年始(12月29日から1月3日)は運休)
運行本数		各ルート1日12便
運行時間帯		午前8時台から午後5時台まで
車両		セダン車両 
運賃	市内の利用	大人300円、小学生100円、 後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方150円
	市外 (JR八街駅の利用)	大人400円、小学生200円、 後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方200円
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び小学生未満は無料		

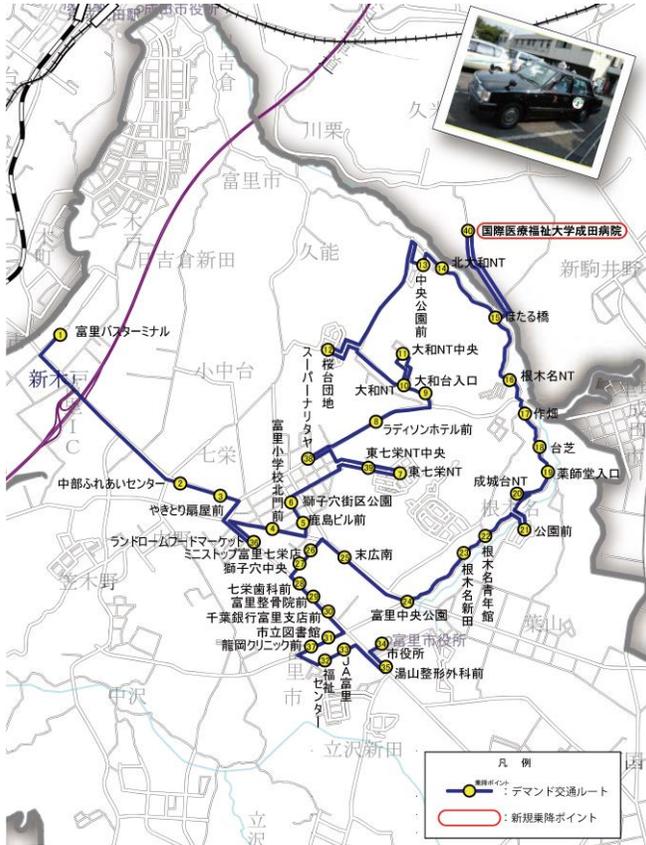
6. 運行エリア

○ 富里バスターミナル～市役所（根木名ルート）、富里バスターミナル～JR八街駅（高松ルート、十倉ルート）が運行しています。

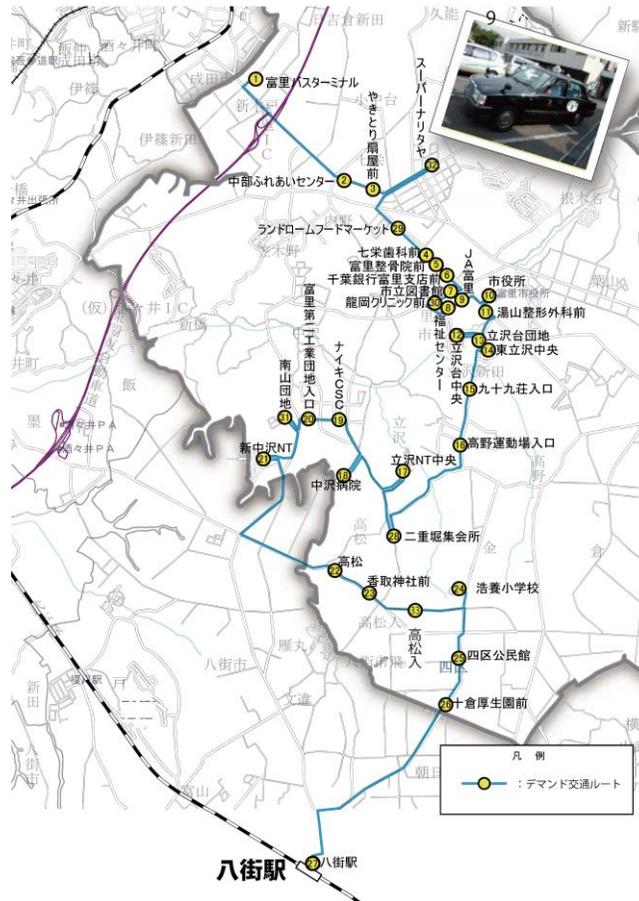


7. 交通体系図

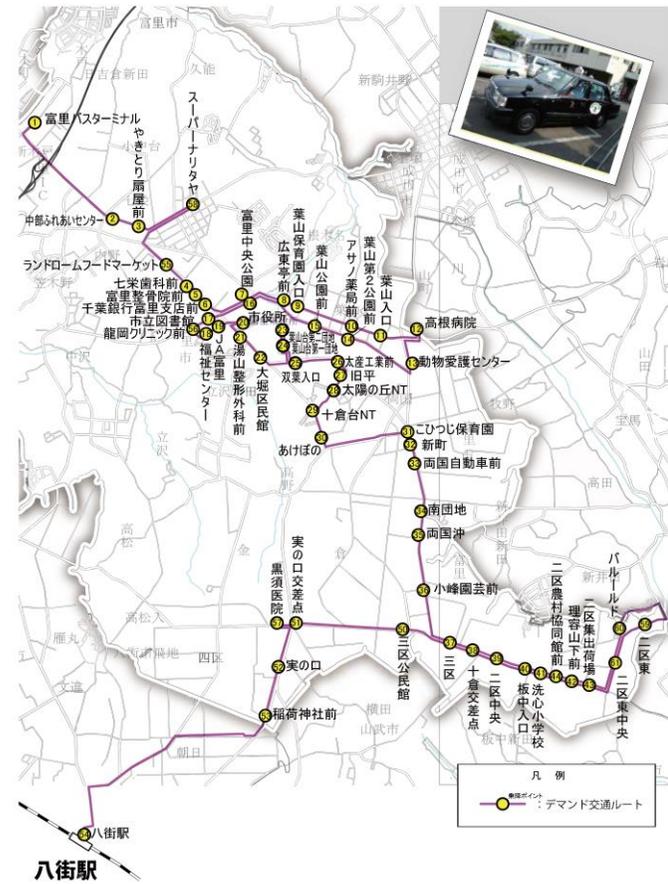
根木名ルート



高松ルート



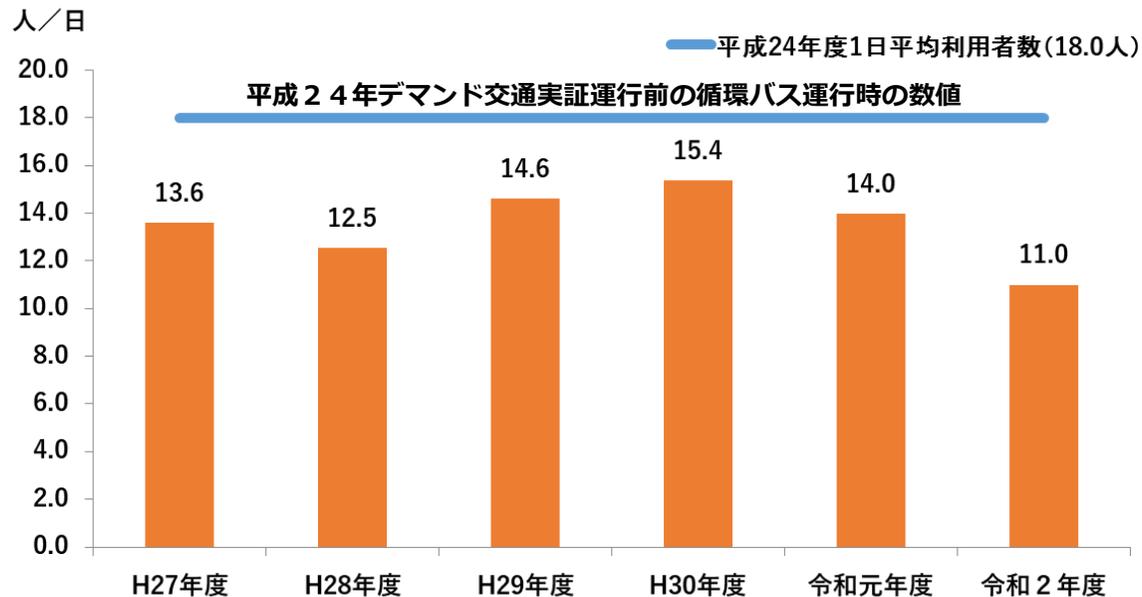
十倉ルート



8-1. デマンド交通利用状況（根木名ルート）

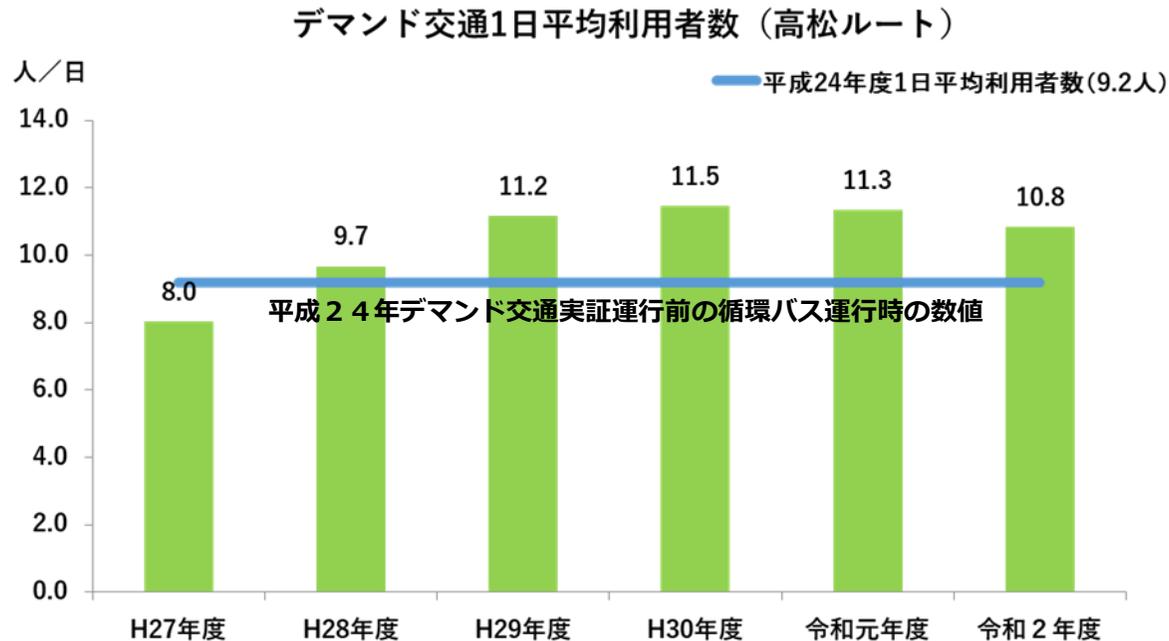
○ 根木名ルートの1日平均利用者数は、平成27年度13.6人、平成28年度12.5人、平成29年度14.6人、平成30年度15.4人、令和元年度14.0人、令和2年度11.0人となっており、平成28年度以降、1日平均利用者数は増加傾向にあったものの、令和元年度以降は房総半島台風、新型コロナウイルス感染症の影響等により、減少傾向となっています。

デマンド交通1日平均利用者数（根木名ルート）



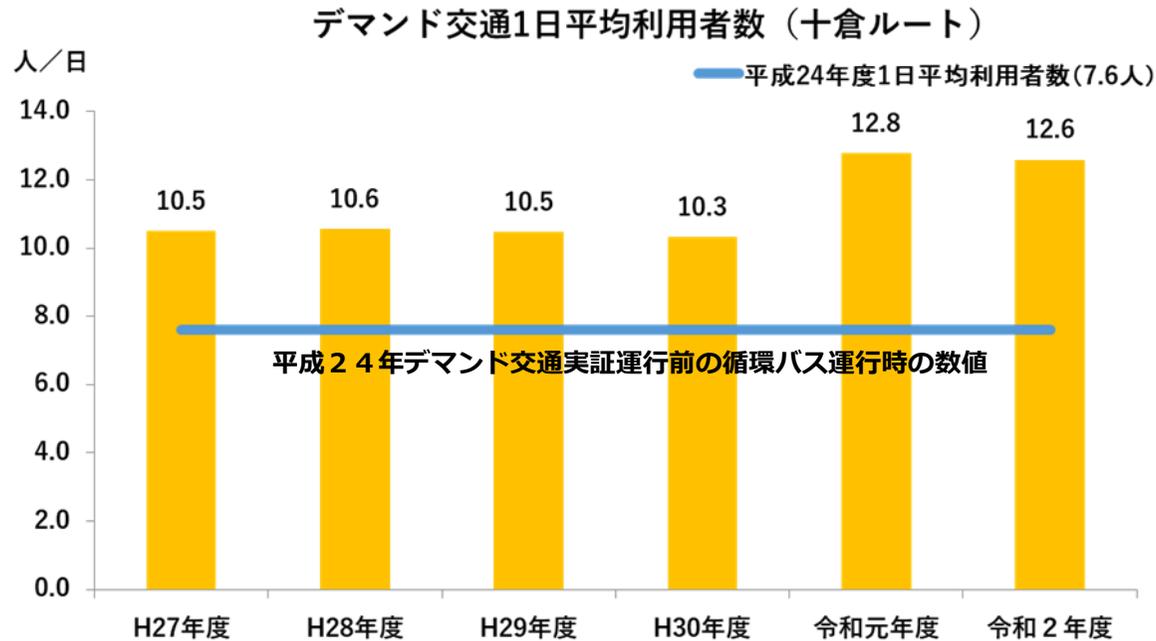
8-2. デマンド交通利用状況（高松ルート）

○ 高松ルートの1日平均利用者数は、平成27年度8.0人、平成28年度9.7人、平成29年度11.2人、平成30年度11.5人、令和元年度11.3人、令和2年度10.8人となっており、平成27年度以降は、実証運行前の利用者数を上回っています。



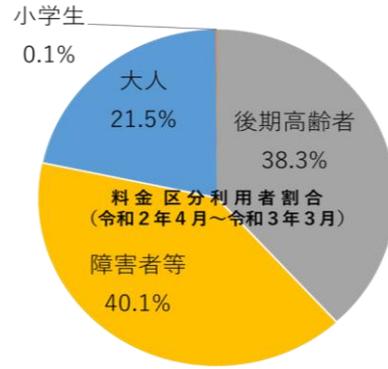
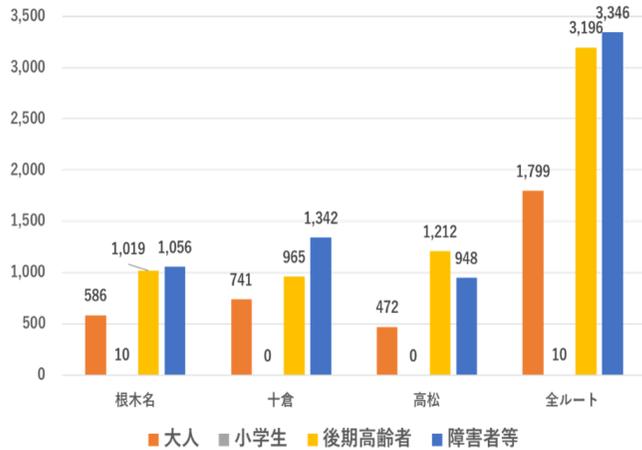
8-3. デマンド交通利用状況（十倉ルート）

○ 十倉ルートの1日平均利用者数は、平成27年度10.5人、平成28年度10.6人、平成29年度10.5人、平成30年度10.3人、令和元年度12.8人、令和2年度12.6人となっており、平成27年度以降は、実証運行前の利用者数を上回っています。

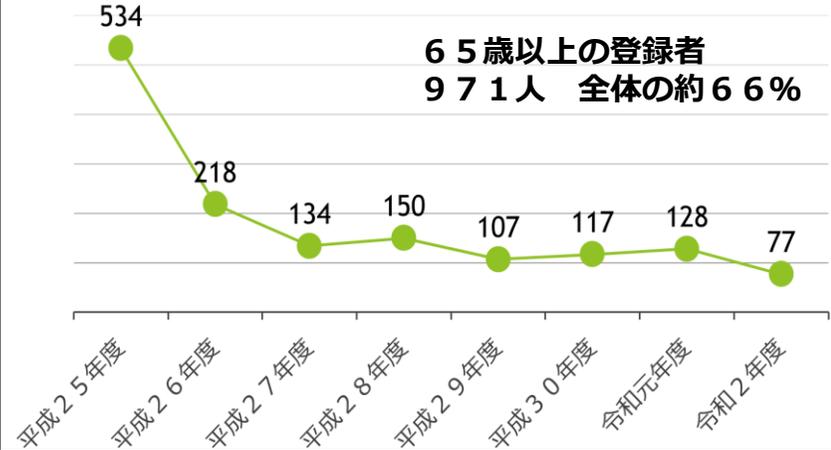


8-4. デマンド交通利用状況（利用者区分及び登録状況）

令和2年度 料金区分別利用者状況



デマンド交通登録者数



- 料金区分別利用者状況は障害者等が最も多く、次いで後期高齢者の利用が最も多くなっています。
- 後期高齢者及び障害者等の利用率を合わせると約78%であり約8割の利用割合を占めています。

- 登録者数は、本格運行開始以降は毎年約100人の新規登録があり、令和3年3月末現在、1,465人の登録があります。

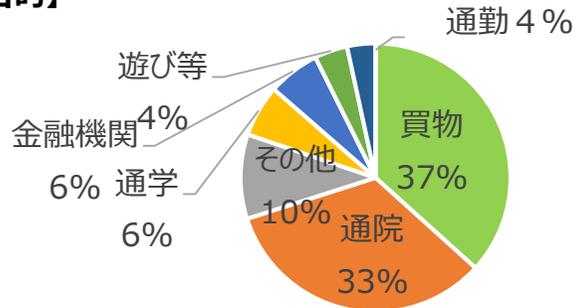
市民の移動の手段として、利用者は増加傾向にあり、登録者についても毎年約100人が新規登録しています。今後の高齢化の進展により、利用者は増加すると見込まれます。



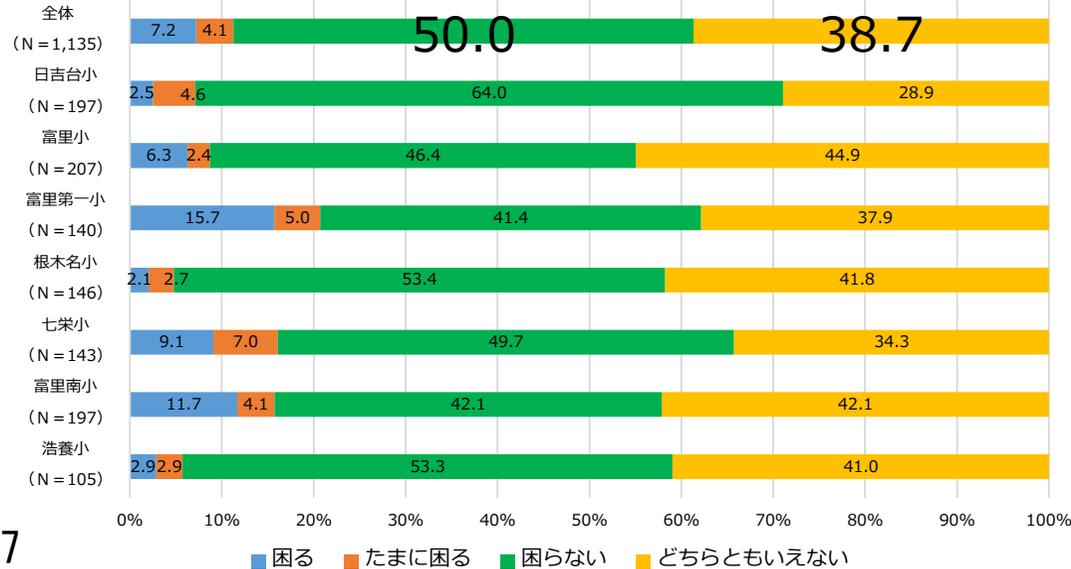
② 富里市地域公共交通の課題について

1. さとバスについて（令和3年7月 ニーズ調査）

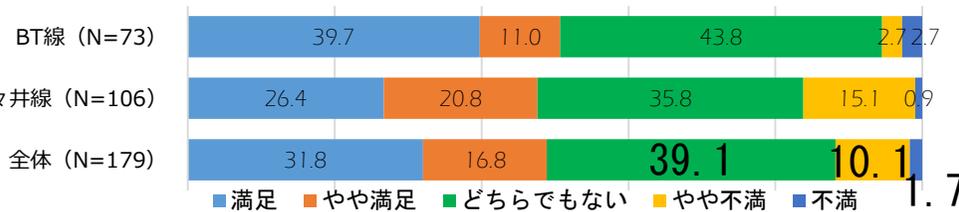
【さとバスを利用する目的】



【さとバスの廃止について】



【さとバスを利用している方の満足度】



- 利用目的の7割が「買物・通院」
- 利用者の半数以上が、さとバスに満足していない
- 約9割の方がさとバスが廃止されても困らない又はどちらともいえないと回答

- 調査期間1週間の全乗車人数は179人 ➤ 1日の平均乗車数は富里バスターミナル線で14.8人 酒々井線で21.2人
- 1便当たりの乗車数は富里バスターミナル線1.64人 酒々井線2.12人 ⇒さとバスを利用される方が少ない状況

改善：車両の更新時期及び利用者数に増加傾向がみられないため、効率的な運行サービスを提供できる、持続可能な公共交通事業の検討が必要です。



2. デマンド交通について（令和3年8月 ニーズ調査）

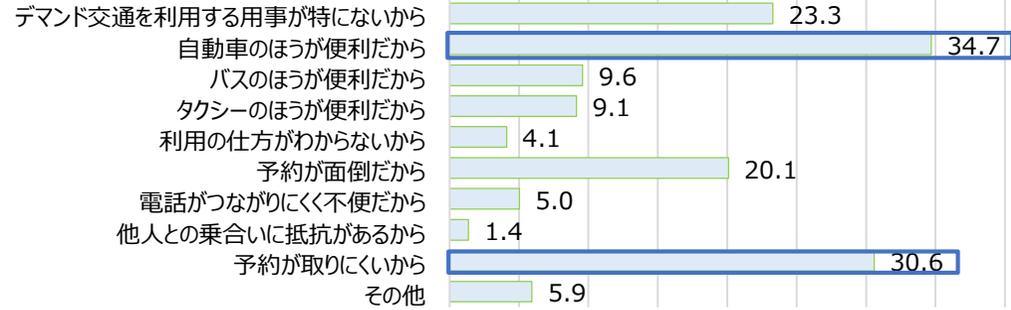
【デマンド交通を登録した理由】



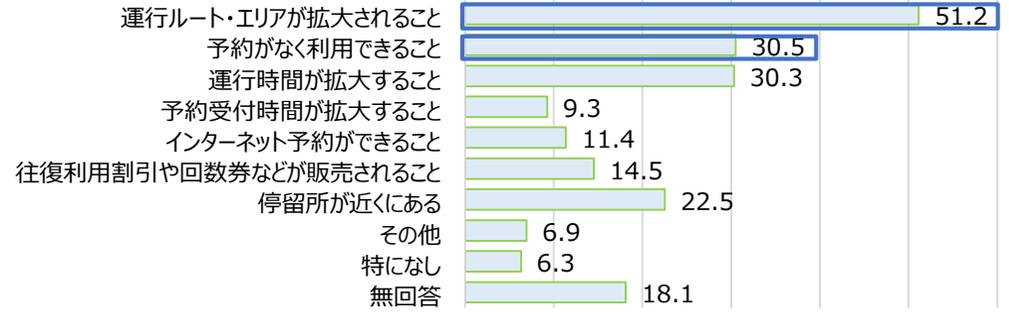
【デマンド交通を利用している方の頻度】



【デマンド交通を利用しない理由】



【今後デマンド交通に期待すること】



○ 「移動手段がなく困っていたから」 「送迎を頼めない時に利用」
 ○ **登録はしているものの「利用していない」方が（46.1%）**

○ 「自家用車の方が便利」 「予約が取りにくい」
 ⇒ **「ルート-エリアの拡大」 「予約の改善」を期待する声が多い。**

改善：鉄道駅のない本市において、高齢者等（交通弱者）の移動の利便性向上のため、運行サービス向上が求められている。



3. 課題解決に向けた方向性

現状

地域の現状とニーズ調査から見える課題

課題解決の方向性

- 人口減少や少子高齢化の進行
- 市民ニーズの多様化
- 市内には鉄道駅がない
- 自動車保有台数の増加
- 移動の交通手段は大半が自動車

- 家族等による送迎が困難になってくると想定される。
- 高齢化の影響でバス停まで歩くことが困難な市民が増加することが想定される。
- 鉄道駅がない、中心市街地がないことによる公共交通網のミスマッチにより生活実態と離れている。
- 公共交通が不便であることから、過度な自家用車利用
- 移動におけるさとバス・デマンド交通は市民のニーズに合っていない
- 地域における公共交通カバー率に差がある。
- 持続可能な公共交通の提供ができなくなる可能性が想定される。

- 周辺鉄道駅（成田、酒々井、八街）へのアクセス強化
- 福祉移送の充実
- 高齢者に配慮したさとバスの見直し
- デマンド交通の機能の強化
- 高齢者（買い物・通院）の移動手段の確保
- 市民の移動ニーズに対応した、利便性の高い公共交通の維持確保
- 交通空白地域の解消
- 利用者目線に立ったわかりやすく利用しやすい環境の改善
- 過度な自動車依存の解消による公共交通への転換促進

- さとバス車両の更新時期（20年 70万km）
- さとバス、デマンド交通の収支率は1割以下
- さとバス乗車定員29人に対し1便の利用者数は平均2人以下
- さとバス利用者は減少傾向
- デマンド交通の運行形態がわかりにくい
- 交通便利性が高い地域と交通空白不便地域が混在

ニーズ

- 通院先では、市内は、成田富里徳洲会病院・龍岡クリニック 市外は、成田赤十字病院・国際医療福祉大学 成田病院が多く、買物先では、市内は、ベイシア・ナリタヤ 市外は、イオンモール成田 ベイシアが多い
- 日常的な移動として「さとバス」を利用しないと回答した市民が9割以上
- デマンド交通は登録したが利用していない人が約半数
- デマンド交通のニーズとして「ルート拡大」「予約の廃止」と回答した市民が多い
- 京成成田駅へのニーズが高い
- ドアツードアのオンデマンドシステムを望む声が多い
- 将来、高齢になってからの移動手段に不安を感じている市民が多い

地域全体を見渡し、市民のニーズにマッチした、富里市に合った最適な公共交通を目指す。

さとバスの見直し デマンド交通の拡充

